

## 期日指定定期預金規定

### I 一般型

#### 1. (預入れの最低金額および限度額)

期日指定定期預金(以下「この預金」といいます。)の預入れは一口100円以上300万円未満とします。

#### 2. (預金の支払時期等)

(1) この預金は、満期日以後に利息とともに支払います。

(2) 満期日は、この預金の全部または一部について預入日の1年後の応答日(通帳(証書)記載の据置期間満了日)から通帳(証書)記載の最長預入期限までの間の任意の日を指定することができます。

満期日を指定するときは、当店にその1か月前までに通知をしてください。この預金の一部について満期日を定めるときは、1万円以上の金額で指定してください。

(3) 満期日の指定がないときは、最長預入期限を満期日とします。

(4) 指定された満期日から1か経過しても解約されなかったときは、満期日の指定はなかったものとします。指定された満期日から1か月以内に最長預入期限が到来したときも同様とします。

#### 3. (利息)

(1) この預金の利息は、解約時に預入日から満期日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率によって1年複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。

##### ① 1年以上2年未満

通帳(証書)記載の「2年未満」の利率

##### ② 2年以上

通帳(証書)「2年以上」の利率(以下「2年以上利率」という。)

(2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約

日または書換継続日の前日までの日数について解約日または書換継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3) この預金を共通規定(定期預金)第2条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数について別表(定期預金の中途解約利率一覧表)の預入期間に応じた利率(小数点第3位以下は切捨てます。)によって1年複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割りで計算します。

この預金には、本規定のほか、後記「期日指定定期預金(一般型・自動継続型)、自由金利型定期預金(M型)規定(スーパー定期)、自動継続自由金利型定期預金(M型)規定(自動継続スーパー定期)、自由金利型定期預金(一般型・自動継続型)、変動金利型定期預金規定(一般型・自動継続型)、財形期日指定定期預金規定、財形年金預金規定、財形住宅預金規定」(以下「定期性共通規定」といいます。)が適用されるものとします。

### II 自動継続型

#### 1. (預入れの最低金額および限度額)

この預金の預入れは一口100円以上300万円未満とします。

#### 2. (自動継続)

(1) この預金は、通帳(証書)記載の最長預入期限に自動的に期日指定定期預金として継続します。継続された預金についても同様とします。

(2) この預金の継続後の利率は、継続日における当金庫所定の利率とします。ただし、この預金の継続後の利率について別の定めをしたときは、その定め

よるものとします。

- (3) 継続を停止するときは、最長預入期限（継続したときはその最長預入期限）までにその旨を当店に申出てください。

### 3. (預金の支払時期等)

- (1) この預金は、次に定める満期日以後に支払います。

①満期日の指定があったときは、指定された日を満期日とします。

満期日は、この預金の全部または一部について預入日の1年後の応当日（表面記載の据置期間満了日。継続をしたときはその継続日の1年後の応当日）から最長預入期限までの間の任意の日を指定することができます。満期日を指定するときは、当店にその1か月前までに通知してください。この預金の一部について満期日を決めるときは、1万円以上の金額で指定してください。

②継続停止の申出があり満期日の指定がないとき（次項により満期日の指定はなかったものとしたときを含む。）は、最長預入期限を満期日とします。継続停止の申出があった後、この預金の一部が解約されたときの残りの金額について満期日の指定のないときも同様とします。

- (2) 指定された満期日から1か経過しても解約されなかったときは、満期日の指定はなかったものとします。指定された満期日から1か月以内に最長預入期限が到来したときも同様とします。

- (3) 継続停止の申出がない場合、この預金の一部が解約されたときはその残りの金額について、また、前項により満期日の指定がなかったものとされたときは預金の全部について、引続き自動継続の取扱いをします。

### 4. (利息)

- (1) この預金の利息は、継続日（解約するときは解約

時）に預入日から最長預入期限（解約するときは満期日）の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率によって1年複利の方法で計算します。

①1年以上2年未満

通帳（証書）記載の「2年未満」の利率

②2年以上

通帳（証書）「2年以上」の利率（以下「2年以上利率」という。）

- (2) 継続後の預金の利息についても前項と同様の方法で計算します。

- (3) 継続をする場合の利息は、あらかじめ指定された方法によって、継続日に指定口座へ入金または元金に組入れます。

- (4) 指定された満期日から1か月以内に解約する場合または継続を停止した場合の利息は、満期日以後にこの預金とともに支払います。なお、満期日以後の利息は満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

- (5) この預金を共通規定（定期預金）第2条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日（継続したときは最後の継続日）から解約日の前日までの日数については別表（定期預金の中途解約一覧表）の預入期間に応じた利率（小数点第3位以下は切捨てます。）によって1年複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。

- (6) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

この預金には、本規定のほか、後記「期日指定定期預金（一般型・自動継続型）、自由金利型定期預金（M型）規定（スーパー定期）、自動継続自由金利型定期預金（M型）規定（自動継続スーパー定期）、自由金利型定期預金（一般型・自動継続型）、変動金利型定期預金規定（一般型・自動継続型）、財形

期日指定定期預金規定、財形年金預金規定、財形住宅預金規定」(以下「定期性共通規定」といいます。)が適用されるものとします。

以上